

令和2年度秋田県公立高等学校入学者選抜

一般選抜学力検査問題 国語

配点比較

昨年	大問 1	大問 2	大問 3	大問 4	大問 5	大問 6
問題数	4 問	8 問	7 問	7 問	7 問	1 問
配点	1 0 点	2 4 点	2 2 点	1 4 点	1 8 点	1 2 点
今年	大問 1	大問 2	大問 3	大問 4	大問 5	大問 6
問題数	4 問	7 問	7 問	8 問	7 問	1 問
配点	1 0 点	2 1 点	1 4 点	2 4 点	1 9 点	1 2 点

全体的に大問の前後はあるものの配点の割合は、昨年同様といえる。

大問 1 聞き取り調査

昨年同様、会話を聞き各問に答える問題

<変化>

昨年は2名の会話だったが、今年は3名の会話になっている。

<ポイント>

会話からそれぞれの立場を理解し、重要なポイントを拾い上げ聞くようにする。

大問 2 説明的文章

<ポイント>

問題・話題に対し筆者の考えを読み取るために、繰り返される言葉や同義語、もしくは対義語に注意するようにする。また接続語に注意を払い、内容の展開を考えるようにする。

その他には、断定的な表現を使っている場合は、筆者の考えを強く示している場合があり、文章の終わりは特に結論をのべていることがあるので注意したいところ。

また、各大問にも言えることであるが、本文だけではなく、問題文ある言葉は、本文の言葉や同義語になっている場合が多いので、問題文も注意深く読んでほしい。

大問3 説明的文章2

- 漢字の読書き
- 文節分け
- 用言の活用の種類
- 対義語

<ポイント>

文章内容よりも、漢字・語句、文法が問われている大問だった。

漢字・語句、文法は正しい知識とその活用まで理解しておく必要がある。

個々後の勉強としては比較的しやすい部分ではあるため、日頃から学習しておくようにする。

大問4 文学的文章

<ポイント>

小説の一部を抜粋しているため、本文の前の点線で囲まれた文章中にある出来事、時期、場所などの説明から、ある一手の状況を把握してから本文を読むこと。

人物名、出来事、人物の行動、心情表現などはしっかりと読みとらえ、心情の変化などを抑える。本文中にはない言葉を使い、人物像や心情を答える問題も増えているため、語彙力や表現力を増やしておくようにはしたい。

大問5 古文

<ポイント>

古文では基本的に出題される「現代仮名遣い直し」と「古語」は押さえておきたい知識問題。

また本文の内容を理解するうえで、補足されている用語説明も利用し、おおよその内容を掴み取りたいところ。

また人物やせりふなどにも注意をしておくようにする。

大問6 作文

題材「外国人に伝えたい日本の魅力」

作文の配点は12点中、内容構成5点、表現叙述4点、表記等に3点となっている。

内容構成は、自分の考えを、理由を交えて分かりやすく述べていること。構成の工夫をしていること。表現叙述は、内容の述べ方や表現方法を工夫していること。言葉使いが適切であること。表記等では、漢字、区切り符号などの使い方や、仮名遣いが適切であること。

以上のことを念頭に置きつつ、作文は書いておきたいところ。